

2023年3月期

第3四半期 決算概要

アキレス株式会社 (コード番号:5142 東証プライム市場)

2023年2月10日

1. 2023年3月期 第3四半期 業績

1. 2023年3月期 第3四半期 業績 — 連結損益計算書

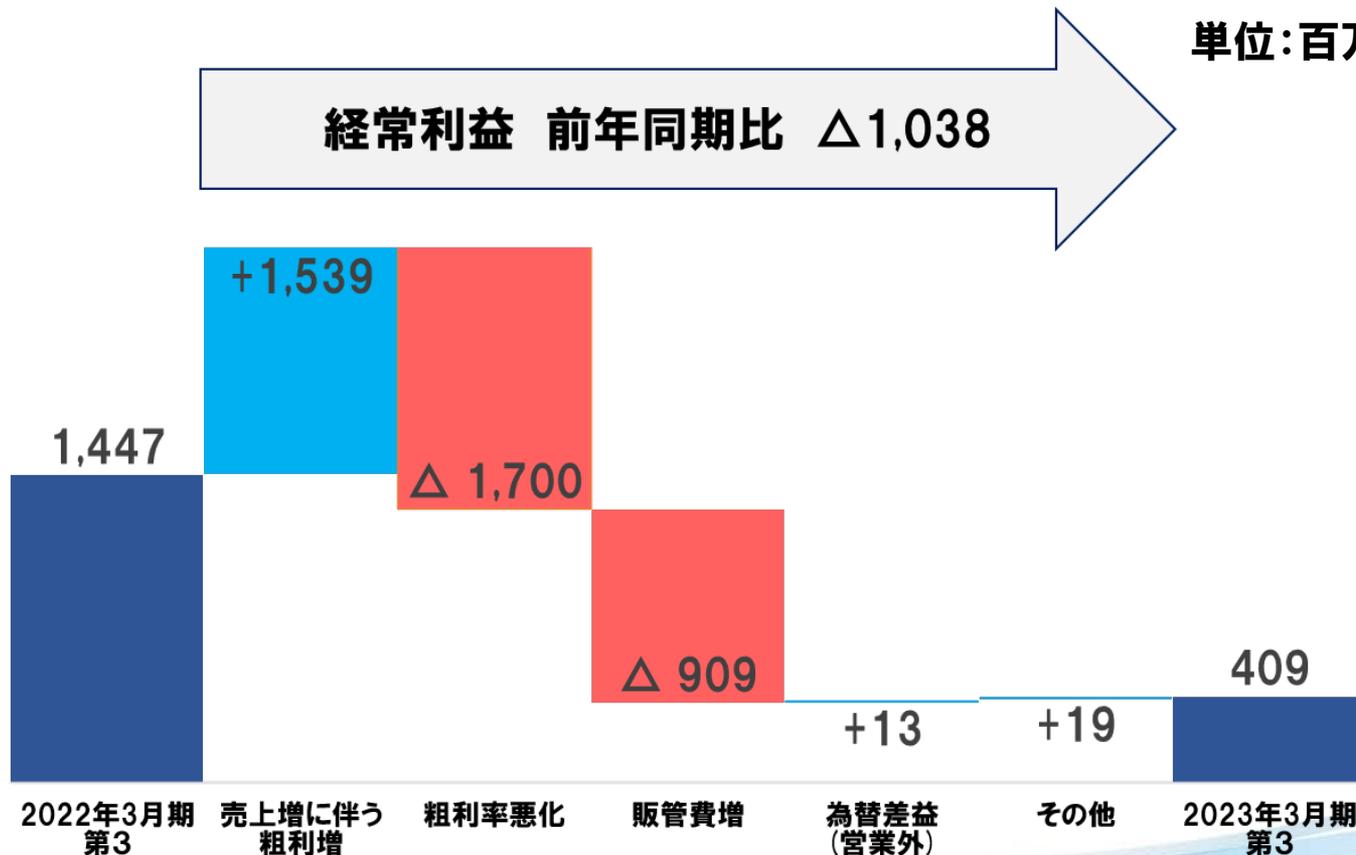
- 売上高は、北米での医療用の大幅伸長、海外子会社の為替円安による押し上げ、価格改定等により増収
- 利益面では、エネルギー・原材料価格や物流費の上昇、為替円安に伴う仕入コストの増加等コスト上昇分をコストダウン活動や価格改定等で補うには至らず営業損失

(単位:百万円)

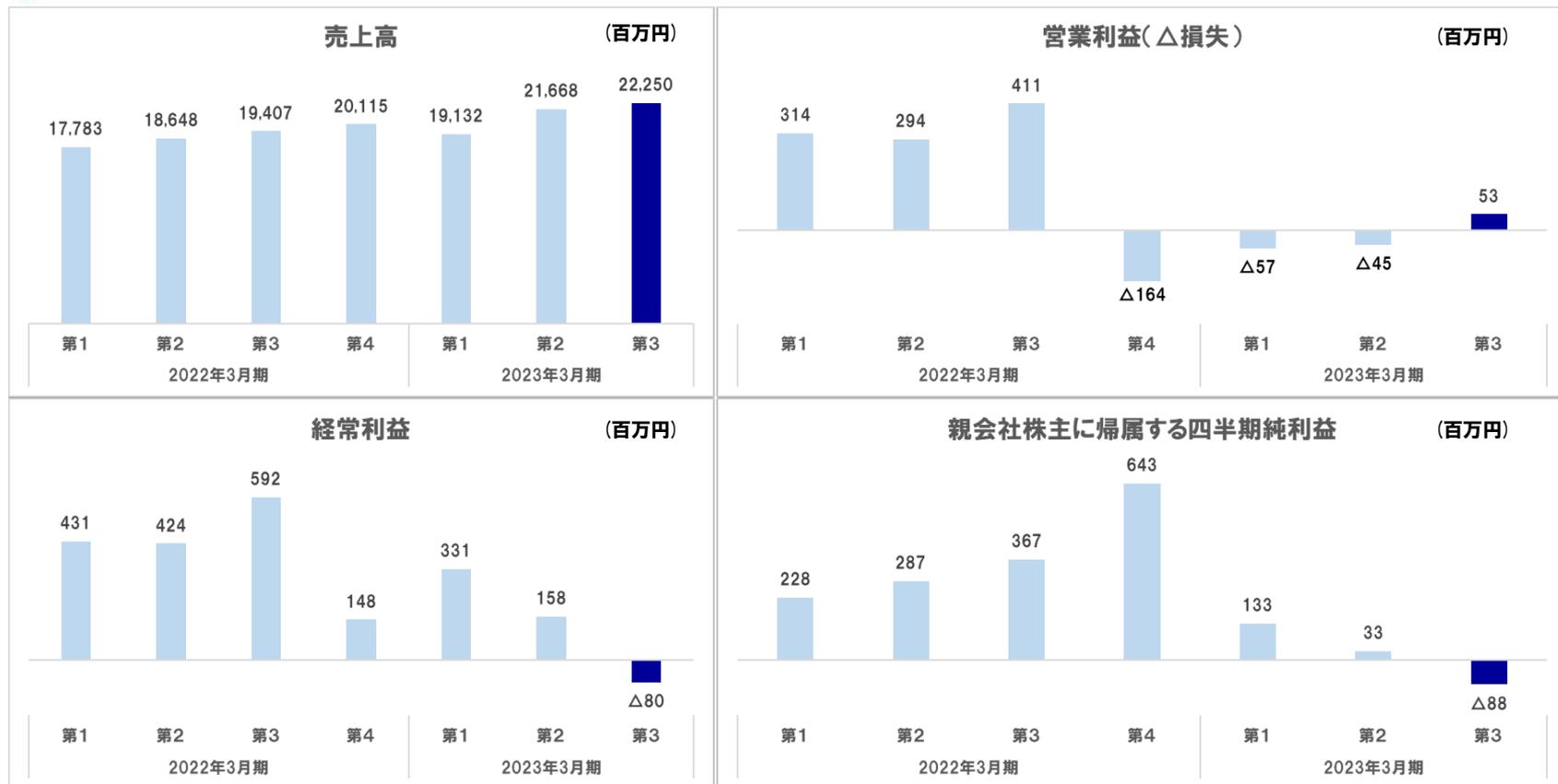
| | 2022年3月期 | | 2023年3月期 | | 前年同期比 | |
|----------------------|----------|-------|----------|--------|---------|---------|
| | 第3 | 売上比 | 第3 | 売上比 | 増減額 | 増減率 |
| 売上高 | 55,838 | - | 63,050 | - | 7,212 | 12.9% |
| 売上総利益 | 11,914 | 21.3% | 11,753 | 18.6% | △ 161 | △ 1.4% |
| 販売費及び一般管理費 | 10,894 | 19.5% | 11,803 | 18.7% | 909 | 8.3% |
| 営業利益(△損失) | 1,019 | 1.8% | △ 49 | △ 0.1% | △ 1,068 | - |
| 経常利益 | 1,447 | 2.6% | 409 | 0.6% | △ 1,038 | △ 71.7% |
| 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | 882 | 1.6% | 78 | 0.1% | △ 804 | △ 91.1% |
| 1株当たり四半期純利益(円) | 56.21 | | 5.06 | | △ 51.15 | |

1. 2023年3月期 第3四半期 業績 — 経常利益の増減分析

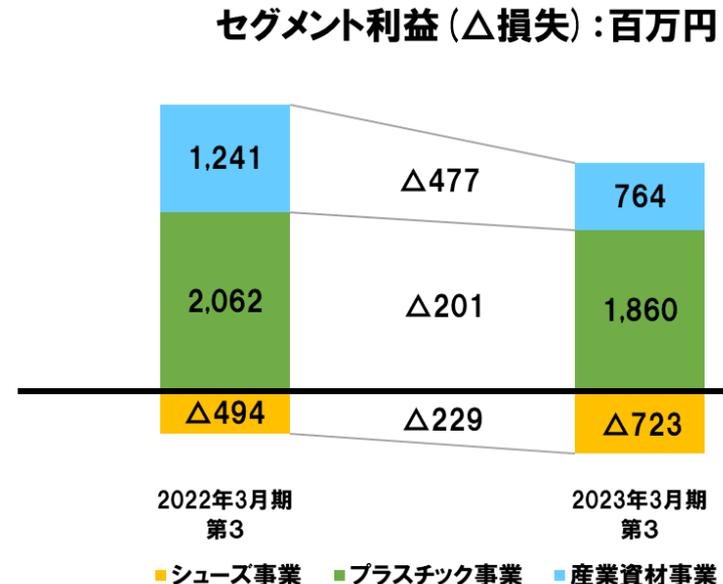
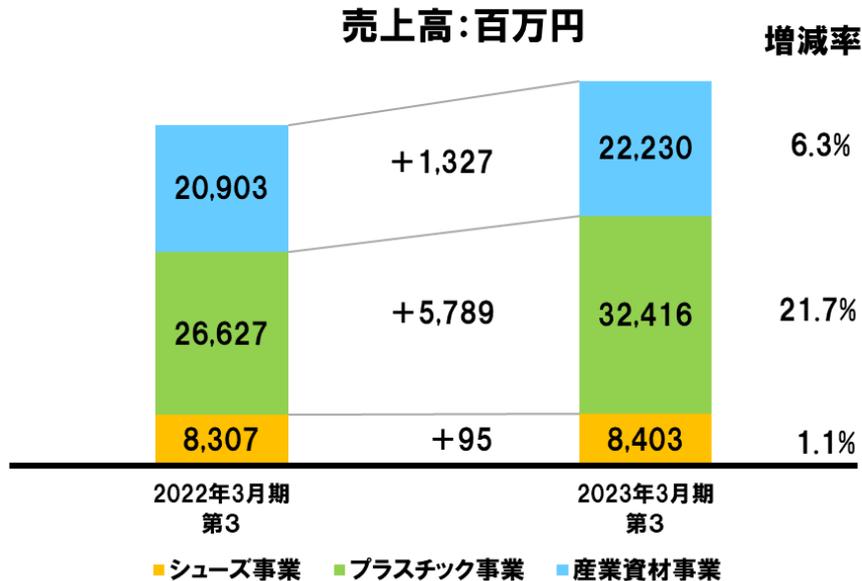
単位:百万円



1. 2023年3月期 第3四半期 業績 — 四半期別推移



1. 2023年3月期 第3四半期 業績 — セグメント情報



- シューズ事業は、子供・ランニング用が好調に推移
- プラスチック事業は北米で医療用フィルムが大きく伸長。建装資材も新柄が好調。車輦内装用資材は自工メーカーの生産調整改善に伴い好調に推移
- 産業資材事業はウレタンの車輦用が回復。半導体分野向けウエハー搬送用部材も国内・外で好調に推移

- シューズ事業は販売費の削減や価格改定に努めるも為替円安に伴う仕入コスト上昇の影響続き損失拡大
- プラスチック事業ならびに産業資材事業は一層のコストダウン活動や価格改定に努める中、原材料やエネルギー価格・物流費上昇の影響により減益

1. 2023年3月期 第3四半期 業績 — 連結貸借対照表

(単位:百万円)

| | 2022年3月期 | 2023年3月期 第3 | 前期末比 増減額 |
|-------------|----------|----------------|-------------|
| 流動資産 | 44,428 | 51,354 | 6,925 |
| 有形固定資産 | 25,499 | 27,633 | 2,134 |
| 無形固定資産 | 400 | 453 | 53 |
| 投資その他の資産 | 9,795 | 9,845 | 50 |
| 資産合計 | 80,123 | 89,286 | 9,163 |
| 流動負債 | 24,406 | 28,011 | 3,604 |
| 固定負債 | 7,988 | 12,647 | 4,658 |
| 負債合計 | 32,395 | 40,658 | 8,263 |
| 純資産 | 47,728 | 48,627 | 899 |
| 負債・純資産合計 | 80,123 | 89,286 | 9,163 |
| 自己資本比率 | 59.6% | 54.5% | △5.1% |
| 一株当たり純資産(円) | 3,049.81 | 3,198.02 | 148.21 |

- 棚卸資産 4,353
- 売上債権 2,223

- 建物及び構築物 608
- 機械装置及び運搬具 2,476

- 仕入債務 3,487
- 短期借入金 700

長期借入金 4,500
— 国内・外 設備投資案件対応

- 利益剰余金 △ 547
- 自己株式 △ 589
- 為替換算調整勘定 2,414

2. 2023年3月期 通期業績予想

2. 2023年3月期 通期業績予想 — 修正あり

- 売上高は、市場の落ち込みや為替円高の進行に伴う海外子会社売上高の円換算額減少等により下方修正
- 利益面は、エネルギー・原材料価格や為替円安等のコスト増が価格改定やコストダウン活動効果を上回り下方修正
- 全社的なコストダウン活動への取り組みと価格改定の一層の推進、徹底した経費削減等により、収益性の早期改善を図る

(単位:百万円)

| | 2023年3月期 前回予想 '22/11/11 | 修正額 | 2023年3月期 今回予想 '23/2/10 | 2022年3月期 実績 | 前期比 増減額 |
|------------------------------|-------------------------------|--------|------------------------------|----------------|------------|
| 売上高 | 86,000 | △3,000 | 83,000 | 75,953 | 7,047 |
| 営業利益(△損失) | 100 | △1,600 | △1,500 | 855 | △2,355 |
| 経常利益(△損失) | 800 | △1,700 | △900 | 1,595 | △2,495 |
| 親会社株主に帰属 する当期純利益 (△損失) | 200 | △900 | △700 | 1,525 | △2,225 |
| 配当金 | 40円 (期末) | | 40円 (期末) | 40円 (期末) | |



マモルを
ツナグ。

足を守る。農作物を守る。安眠を守る。
半導体を守る。医療を守る。道路を守る。
古墳を守る。体を守る。空間を守る。
家を守る。ヒルを守る。生命を守る。
美味しいを守る。美観を守る。
DXを守る。インフラを守る。
健康を守る。環境を守る。
安心を守る。安全を守る。快適を守る。
私たちアキレスは、製品をつくるだけでなく、
さまざまな「マモル」を
新しい価値としてつないでいく。

そして、笑顔も守る、
社会も守る、未来も守る。
つなぐのは、アキレスです。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。